

各 位

会 社 名 株式会社ホテル、ニューグランド

代表者名 代表取締役社長 濱田 賢治

(JASDAQコード 9720)

問合せ先 取締役経理部長 岸 晴記

電話番号 045-681-1841

剰余金の配当 (無配) に関するお知らせ

当社は本日の取締役会において、下記のとおり平成 28 年 11 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を行わないことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (平成 29 年 1 月 13 日) | 前期実績 (平成 27 年 11 月期) |
|-----------|-------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 基 準 日 | 平成 28 年 11 月 30 日 | 同左 | 平成 27 年 11 月 30 日 |
| 1株当たり配当金 | 0円00銭 | 25円00銭 | 25円00銭 |
| 配当額の総額 | _ | 29 百万円 | 29 百万円 |
| 効 力 発 生 日 | _ | 平成 29 年 2 月 24 日 | 平成 28 年 2 月 26 日 |
| 配 当 原 資 | _ | 資本剰余金 | 利益剰余金 |

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけ、収益性の向上と経営基盤の強化に努めるとともに、配当につきましても安定的な配当の継続を基本方針としております。

当社の業績につきましては平成 29 年 1 月 13 日付「平成 28 年 11 月期決算短信【日本基準】(非連結)」のとおり、当期純損失 9 億 40 百万円を計上することになりました。

当期純損失を計上するに至った要因は、平成 28 年 6 月~9 月の 4 カ月間本館の営業施設の一部の営業を休止し、本館大規模耐震補強改修第 2 期工事を実施したことに加え、土地等の減損損失 3 億 51 百万円を計上したことによるものであります。

剰余金の配当については、資本剰余金を配当原資とする配当を予定しておりましたが、競争力強化のため、 新館リニューアル工事への設備投資枠を出来るだけ大きくしたいと考え、1月13日に公表いたしました資本 剰余金を配当原資とする配当予定を見直すことといたしました。

この状況をうけ、当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。

【参考】年間配当の内訳

| | | | 1株当たり配当金(円) | | |
|------|----------|--------|-------------|--------|--------|
| 基 | 準 | 日 | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 当 | 期 実 | 績 | 0円00銭 | 0円00銭 | 0円00銭 |
| 前期実績 | (平成 27 年 | 11 月期) | 0円00銭 | 25円00銭 | 25円00銭 |

以上